

ホテル椅子、社長の机…おしゃれに再生

東京

古たんすを利用したレトロな収納インテリア。木目を生かしたキューートな椅子…。スタイリッシュな家具は元廃棄物だった手掛ける新事業。オフィスやホテルの改装や閉鎖移転に伴い廃棄される家具を買い取り、一点物の家具に「アップサイクル」して再販している。手掛けるデザイナーは新卒で美大から入社した女性3人。よみがえらせた家具は業界のイメージを刷新し、地球上にやさしい循環型経済「サーキュラーエコノミー」の具現化でもある。

近ごろ都に流行るモノ



廃棄家具をリメーク販売する「enloop」。
左からデザイナーの三谷薫子さん、東條鈴菜さん、島田ちひろさん

田町での開催時に訪問。近隣に勤める女性が来店し、椅子を持ち上げてじっくり品定めをしている。「また来ます」と出て行ったが、

リメーク家具「enloop」を手掛けるサイクラーズは、明治35年創業・東港金属を傘下に持ち、本社がある大田区と千葉県に金属やプラスチックなどの産廃処理工場を開いていた。「首都圏立地のためオフィスやホテルの家具処理依頼が多く、まだまだ使えない家具を再生できないか、との声が社内」であがつていた」と、取締役経営戦略本部長の山田晃一さん(39)。

△ デザインの力で付加価値を付けて再生した家具の販売は令和5年11月から実施。これまでに都内の下北沢や代官山など環境意識の高い地域で、短期のイベント出店を5回開いてきた。

産廃業者のリメーク家具販売

田町での開催時に訪問。近隣に勤める女性が来店し、椅子を持ち上げてじっくり品定めをしている。「また来ます」と出て行ったが、

同社では3年前から新卒デザイナーを毎年1人ずつ採用。偶然だが全員、武藏野美術大OGだ。採用第1

年目の東條鈴菜さん(23)。「もともとビンテージ品が大好き。古いものに手を加えて、価値を生み出すこと

年にやりがいを感じる。先輩たちと新たなブランドを作っていくことに、わくわくしています」

デザイナーチームは、自社通販やインスタグラムなどのウェブ制作も含めた全体のブランディングを手掛けており、業界のイメージアップを目指している。

素材の中には名門ホテル

号のリーダー、三谷薫子さんが、「一点点物なのでやっぱり欲しい」価格は3万7千円。傷んだ座面の布を木製に替え、花柄スタンプを制作し、柄

「発光塗料で、暗くなると柄が金色に浮き出す。雰囲気の変化も楽しんでほしい」と、こだわりも光る。

古い引き出しの取っ手や鍵穴を飾りとして生かし、脚を付けた個性的なインテリアを制作したのは入社1年目の東條鈴菜さん(23)。

「新規の依頼案件が増えて、デザイナー3人では対応しきれない規模になってしまったが、百貨店からも誘致され、デバイナードとして処分していた不用品が「有価物」となり、相手先企業からも好評だ。

東京総局
〒100-8077
東京都千代田区
大手町1-7-2
電話 03-3275-8747
FAX 03-5255-6634
shuto@sankei.co.jp
広告 03-3275-8654
購読申し込み・
配達・集金
0120-34-4646
紙面・記事
0570-046460
Web
<https://www.sankei.com/region/>

(28日)
旧12月29日
《仏滅》

月齢	28.2
日出	6:44
日入	17:04
月出	5:57
月入	15:26
満潮	5:20
干潮	15:43
大潮	10:30
小潮	22:48
(東京)	

新経
THE SANKEI SHIMBUN

ウェブでも
ニュース
発信中
www.sankei.com/

号のリーダー、三谷薫子さんは、「事業所から排出される家具を丸ごと数百点、数千点規模で買い取り、再生可能なものを仕分けする。これまで料金を払って「廃棄物」として処分していた不用品が「有価物」となり、相手先企業からも好評だ。

産廃業の集荷力を生かし、事業所から排出される家具を丸ごと数百点、数千点規模で買い取り、再生可能なものを仕分けする。これまで料金を払って「廃棄物」として処分していた不用品が「有価物」となり、相手先企業からも好評だ。

△ 産廃業の集荷力を生かし、事業所から排出される家具を丸ごと数百点、数千点規模で買い取り、再生可能なものを仕分けする。これまで料金を払って「廃棄物」として処分していた不用品が「有価物」となり、相手先企業からも好評だ。

△ 産廃業の集荷力を生かし、事業所から排出される家具を丸ごと数百点、数千点規模で買い取り、再生可能なものを仕分けする。これまで料金を払って「廃棄物」として処分していた不用品が「有価物」となり、相手先企業からも好評だ。